

陶製品（粘土瓦製品）に関するお願いと注意点

■ いぶし瓦素材の取扱注意

- 油類やその他の汚れが付着すると、シミになったり汚れが取れなかったりしますのでご注意ください。
- 養生テープやガムテープなど粘着材を貼り、それらを剥がすと表面の炭素膜が取れて、その部分の色が変わりますのでご注意ください。
- 鉄分を含んだ水がかかると、表面にサビ汚れがでます。この汚れは除去できませんのでご注意ください。
- 表面の炭素膜は傷付きやすいのでご注意ください。

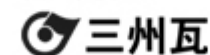
■ 製品に関するお願い（粘土瓦製品の特性について）

- 本製品は陶器製品のため、ネジレや寸法のバラつき、色ムラがあります。
- 粘土瓦製品は経年により変色する場合がありますが、製品本来の品質には全く問題はありません。

▲ 安全に関するご注意

- 工事に不備があると、落下・破損等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦製品を使う場合には、専門業者にご相談下さい。
- 粘土瓦製品で特殊な設計を行う場合は、専門業者にご相談下さい。

人にやさしい・・・

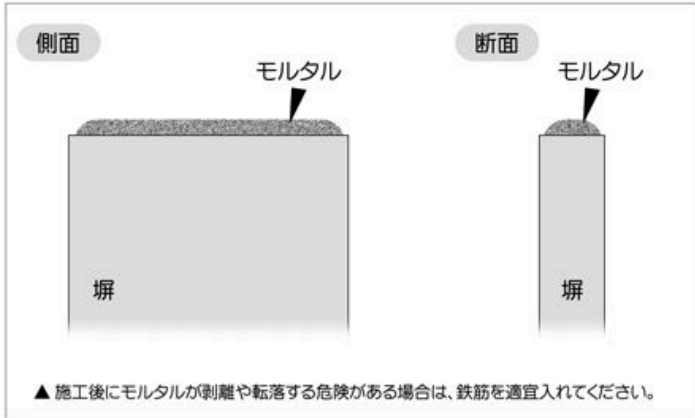


必要枚数の算出

平瓦の必要枚数 = (塀の長さ - とめ瓦の働き長さ × 2枚 - 調整瓦の働き長さ) ÷ 平瓦の働き長さ

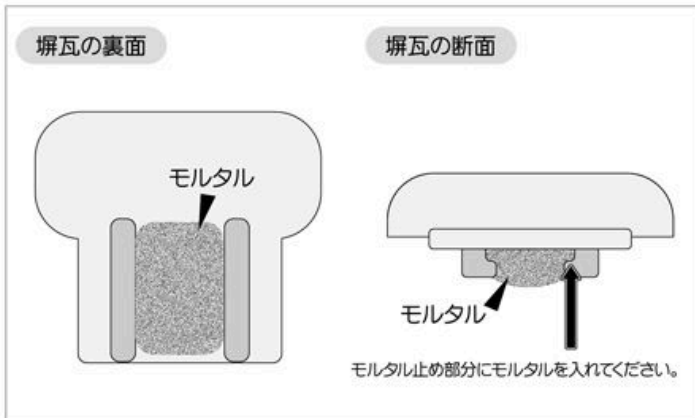
● セレ・ポルト = (塀の長さ - 390mm) ÷ 190mm (端数は切り上げてください)

● セレ・シエナ = (塀の長さ - 390mm) ÷ 180mm (端数は切り上げてください)



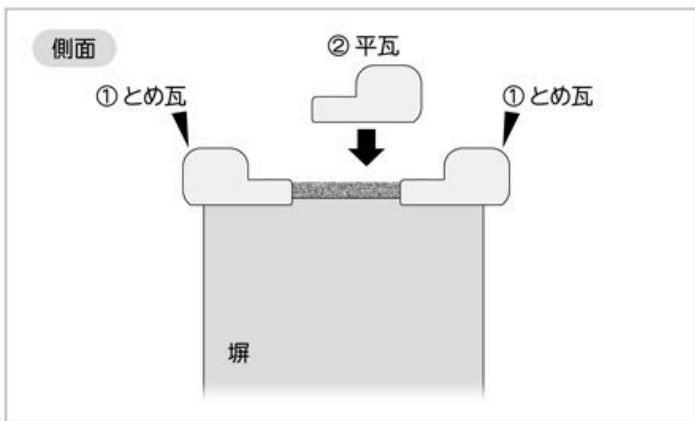
Step-1

- 塀にモルタルを左図のように施工してください。
(速乾性のモルタルは避けてください。)
(適宜、鉄筋にて補強をしてください。)



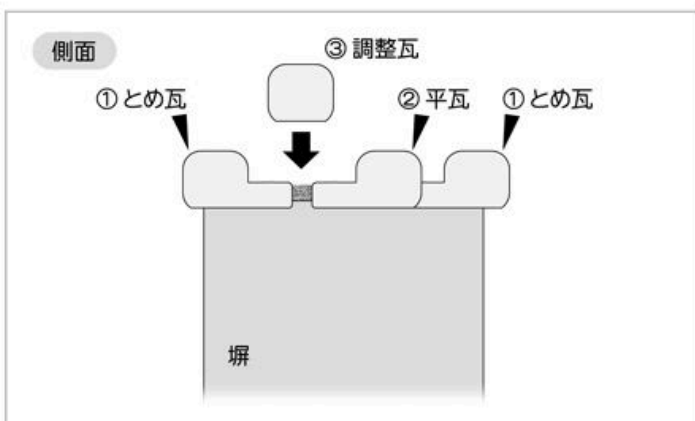
Step-2

- 塀瓦の裏面にモルタルを左図のように入れてください。
- その際、塀瓦のモルタル止め部分(凹部)にモルタルをしっかり入れてください。



Step-3

- 最初に両端の①とめ瓦を施工してください。
- 次に②平瓦を施工してください。
- 施工は、塀瓦を押しつけて、塀のモルタルと塀瓦のモルタルが馴染むようにしてください。
(塀瓦には銅線止め用の穴があります。適宜、鉄筋に止め付けてください。)



Step-4

- 最後に③調整瓦を施工してください。
- 塀が山なりの場合、調整瓦が山の頂点になるように施工してください。

▲ セレ・シエナの場合、塀瓦下の空洞が見えます。
モルタルや漆喰で塗り込む必要があります。